

第 37 期理事会役員紹介とご挨拶

理事長 鈴木 和也 (すずき かずや)

この度、37 期理事長に就任しました鈴木でございます。歴代理事の皆様が築いてこられた管理組合運営をしっかりと引き継いで行きたいと考えております。さて、ご承知の通り当マンションはエレベーター更新工事、大規模修繕再塗装工事も、今期本番を迎えます。マンションの資産価値を守り、皆様の安全な暮らしを維持するためにも重大な工事です。この工事を円滑に進めるためには、理事だけではなく住民の皆様お一人お一人のご協力が不可欠になります。工事に関する情報が頻繁にお知らせします。よろしくお願い致します。

副理事長 林 恵二 (はやし けいじ)

第 37 期管理組合副理事を務めさせていただきます。私がハイムに住み始めて、四半世紀が過ぎました。皆様も感じておられると思いますが、ハイムの管理状況は素晴らしい。これも歴代の管理組合および住民の皆様の努力のたまものと感謝しております。資産価値の維持・向上を図ることが私たち理事会の責務であると考えております。住民の皆様とのコミュニケーションを大切にしながら、合意形成を図って参りたいと思っております。住民の皆様が安心・安全・快適に暮らせる環境作りのため、精一杯努めてまいります。

副理事長 金子 祐志 (かねこ ゆうじ)

この度、37 期副理事長を務めさせていただくことになりました金子です。56 年前に、この地に参りました。その後、全国転勤で、暫く離れていたところ、中野島小の社会科見学として訪れたことがあるキトー製作所の跡地にハイムが誕生したことを知りました。そして 15 年前故郷に戻った際にハイムの住民になりました。進行中の EV 工事、年明けからの大規模修繕と不便を感じる日々が続きますが、諸先輩方が築かれ守ってこられた住み心地の良いハイムを皆様のご協力を得ながら支えていけますよう努力して参ります。

防災防犯担当 山口 禎 (やまぐち ただし)

この度、防災・防火担当をつとめさせて頂くことになりました山口と申します。ハイムに住み始めてから 10 年以上が経過しておりますが、これまで快適で過ごしやすい環境の中で生活できていることが理事会・管理組合等の様々な方の協力のおかげであることが、今回理事になり実感しました。近年、大規模な地震や気候変動による風水害とそれに伴う災害が頻発しているため、少しでもハイムの防災・防火力を高められるよう取り組みたいと思います。よろしくお願い致します。

防災・防火担当 長澤 正道 (ながさわ まさみち)

今回 2 回目の理事担当です。以前担当したのはかなり昔で久しぶりに理事会に参加させていただきあらゆる面で目覚ましい進化を遂げていると感じています。新多摩川ハイム建設以来ここに暮らして来ました。様々な面で疲れがでてきている。またこれからも出てくると思います。防災に関して何が優先されるのかまだよく分かりませんが住民の皆様の利益を考え微力ながら一年間理事を担当させて頂きます。よろしくお願い致します。

会計担当 山崎 俊子 (やまさき としこ)

この度、会計理事を引き受けることになりました山崎です。入居以来、四季折々の木々や花に囲まれ、癒やされ、快適な日々を過ごして参りました。これも初代から 36 期までご尽力して下さった理事会ほか携わって下さった皆様のおかげと感謝しております。この度会計のバトンを受けることになりました。微力ながらしっかり管理し、今期の理事の皆様と力を合わせて、さらに安心安全で住みよいハイムになるよう精一杯取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。

書記担当 土居 譲 (どい ゆずる)

第 37 期の理事会の書記を担当致します土居と申します。この新多摩川ハイムから徒歩と電車で小学校・中学校・高校に大学、そして勤め先へと通って 36 年になります。引き継ぎの際に受け取った管理組合の資料の厚みに慄き、またこれまでの理事会関係の皆様の熱意とハイムの歴史を感じました。業務についてこれから学んでいくことが多くなりますが、皆様とともにハイムの住環境が維持されていくよう微力ながら努めさせていただきます。

環境担当 大江 文彦 (おおえ ふみひこ)

この度、環境担当理事に就任致しました。30 年以上のハイムの建物自体は二度の大規模修繕を経て更新され、その都度生まれ変わっているようです。環境担当、主にハイムの植栽関係については歴代の担当理事の方々によって快適な住環境が維持管理されて来た事には感謝する次第です。今後ともハイムの皆様のご協力も得て快適な住環境の維持に微力ながら努めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

広報担当 倉田 久子（くらた ひさこ）

第37期ハイムだよりの担当になりました。住民の皆様は今、新多摩川ハイムの何に関心があるのかなと思ひながら、苦手なパソコンに向かいました。四苦八苦し、理事の皆様に助けられてN0. 129号に取り組みました。言葉は人の数だけ意味があります。紙の上に筆者の正しい言葉の意図を伝えられるのかと悩み、とても難しく感じました。次回のハイムだよりの悩みが多くなりそうですが、ゆっくりと考えて取り組みたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

広報担当 高橋 正廣（たかはし まさひろ）

広報担当としてホームページ「ハイムのひろば」を担当いたします。第1期に続いて37年ぶりの理事ですが当初に較べて理事の役割や各種対応が格段に進化して素晴らしい生活環境が維持されていることはこれまでの役員のお陰と感謝申し上げます。これまで以上にHPの活用がなされ理事会、居住者の双方向のコミュニケーションが円滑に進むよう力をつくして参りたいと思います。

コミュニティ担当 角田 美奈子（つのだ みなこ）

コミュニティ担当になりました角田です。これまで30数年、ハイムのお世話になるばかりでしたがこれを機にいろいろなことを学びつつ、少しでも恩返しができるよう微力ながら務めさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

コミュニティ担当 池内 聡（いけうち さとし）

初めまして。今期、理事会コミュニティ担当となりました。こちらの新多摩川ハイムでの生活はまだ日が浅く、中野島での生活にやっと慣れたところです。

エレベーターの更新工事や外壁の再塗装など住環境の変化もあり大変ですがフリーマーケットをはじめ、微力ながらお役に立てるよう努めたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

駐輪駐車場担当 藤井 輝和（ふじい てるかず）

37期理事会で駐輪・駐車場担当をする藤井です。当ハイムには、S62年春4号棟竣工時より入居。15年後の平成14年春から令和元年夏の17年間は新宿区・練馬区に転居していたが、賃借人の退去に伴い当ハイムに戻りました。前半居住中の平成9年輪番制の理事指定があり、消防署で一日防火管理者講習を受講し資格取得のうえ「防災・防火担当」業務を遂行しました。今回、仕事を離れ既に十数年を経過し、毎日刺激の少ない生活が続いている為（徒々お迎えを待つ状況）高齢化（後二年で傘寿）による記憶力・注意力の減退及び他者との接触（会話）機会が少ないことから滑舌が悪く、他の業務では役に立つことが困難と思い、皆さんにお願いし駐輪・駐車場担当とさせて頂くことになりました。

中野島町会担当 見供 千都子（みとも ちづこ）

今回初めて理事になりました。ハイムに入居して28年になります。後期高齢者となり車は手放し体力も落ちたと自覚、筋力が大事と聴き買い物も兼ね離れた店を目指し歩くようにしています。多摩川の土手や二カ領の遊歩道とコースを変え楽しんでます。先日の総会に参加し改めて管理がしっかりしていると感じました。今でもこれからもですがメンテランスの課題は継続する重要な案件と理解しました。長く住んでいて遅まきですがこの一年理事会はじめ町会の集まりに出席出来るよう健康に気をつけなくてはと緊張しています。

中野島町会担当 佐藤 ミチ子（さとう みちこ）

この地に住んで50年になります。新多摩川ハイムの完工までひとごとながら楽しみにしておりましたし、駅前の光景が一変し小・中学校の生徒数が一挙に増えたことなど懐かしく思い出されます。思いがけず町会長の重責を担って二年目になります。正直、荷が重く感じる事もありますが、多くの方々との出会いがあり、貴重な社会勉強を経験させていただいていることは感謝です。ハイムにお住まいの皆様方とは同じ町内の住民として、この地に住んでよかったと思える様な町づくりを共に進めていけましたらと願っています。宜しくお願い致します。

監事 上西 徹（かみにし とおる）

この度、管理組合37期理事会役員（監事）に就任いたしました上西徹と申します。私は、ハイム完成当初から入居し、役員就任は今回で2回目となります。立地、環境に恵まれ、良質な管理が行われ、今期はエレベーター更新や外壁の再塗装など大きな工事が実施されます。また、将来実施されるべき事項もあります。これらの課題に対してより一層住みやすい新多摩川ハイムになるよう、しっかり役目を果たす所存です。どうぞ、宜しくお願い致します。

監事 大河内 正樹（おおこうち まさき）

この度、37期理事に選任され監事の大役を仰せつかりました。30数年前にも一度理事に選任されたことがあり今回が2回目の理事選任となります。数年前はハイムが建てられたばかりの理事選任でしたので右も左もわからず、他の理事の方に助けて頂きながら何とか一年の役目を果たさせて頂きました。今回も理事として役目を全うしたく存じますので皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。最後に大修繕という大変な時期を乗り越えられた36期の理事の方々に深く感謝申し上げます。

大規模修繕工事 外壁塗装不具合に関する対応について

大規模修繕委員会 委員長 佐々木 博

第2回大規模修繕工事・外壁塗装不具合の対応について、臨時総会（8月31日）にて

- ・シミズ・ビルライフケアとの調停による和解案および迷惑料に関する合意案
- ・外壁再塗装工事開始（2026年1月から）

に対する承認をいただきました。承認に際して、居住者のご理解、理事会の多大なご協力をいただきましたことを御礼申し上げます。

現在、再塗装工事開始に向けて臨時総会で居住者の方々から頂いたご意見、ご質問を参考にして工事計画の詳細を安全、品質を第一に詰めています。

再塗装工事での閉塞感やご不便をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

また、再塗装工事に対する管理組合の関わり強化、および、工事後の定期検査への体制作りのため、サポート業務を管理会社（住商建物）に見積金額282万円（37期修繕積立金会計予算250万円）を理事会に諮問・承諾のうえ下記の通り工事説明会を実施いたしました。

工事説明会 2025年11月16日（日）10:00～12:00 中野島会館

再塗装工事 2026年 1月～2028年12月（3年間）

※1棟毎に工事を行い、完了報告を行う

エレベーター更新工事

《停止期間（10～14日間）階段利用の注意》

1、**すれ違いは上りが優先**。下りの方はフロア・踊場で待機。急がず互いに譲り合い、安全第一でお願いします。

2、**階段の踏み外しに注意**。転倒防止のため手摺りを使用し、両手を塞がないようにしましょう。

3、**防犯・防火対策も安全に**。外出の時はドアだけではなく窓も施錠しましょう。

ガスの元栓・電気品のコンセントなど点検をお願いします



現在の昇降ボタン 1 → 7 新規昇降ボタン 1 → 2
8 → 14 3 → 4



ドア左上に開閉ランプ



内側手摺りとゆっくり開閉ボタン

【トピックス】

階段昇降の際「滑り止めつき作業用軍手」の着用をお勧めします。着用して手摺りにつかまると滑り防止のほか、膝への負担が軽減され、また手の汚れを防ぐことも出来ます。「滑り止め作業用軍手・突起つき手袋」は百円ショップでも入手可能です。第1期更新工事の際、実際利用した方からのアドバイスです。お試し下さい。

フリーマーケットの様子

9月10日実施



ハイムの広場いっぱいになんべいのお店が並びました。



第1回 理事会

2025年10月5日 14:00~16:00

- 1、各理事の役職を決定しました。
- 2、理事会のスケジュールを確認しました。
理事会 原則 毎月第二土曜日
三役会 原則 毎月最終土曜日
- 3、連絡方法役員名簿および連絡方法を確認しました
- 4、下布田小学校の避難運営委員を選出しました。
- 5、エレベーター改修における本体工事及び意匠工事完了後の立ち会い確認の担当を決めました。
- 6、共用部見学（電気室受水槽室など）を行いました。
- 7、その他 大規模修繕委員会の進捗

ハイム公式ホームページ「ハイムのひろば」

<https://heimnohiroba.com/>

居住者向け情報です。閲覧するにはパソコン・タブレット・スマホの検索アプリに「ハイムのひろば」を文字又は音声入力し、現れた「ハイムのひろば」<https://heimnohiroba.com/>をタップすると、「ハイムのひろば」トップ画面に切り替わります。

「管理組合情報」等、居住者限定記事閲覧はパスワード [heim2018]の入力が必要です。

令和6年共同募金のつかいみち

共同募金2025地域版〈たまだより〉より抜粋しました。皆様からの共同募金の使い道についてのご参考にしてください。詳しくは管理事務所掲示板に掲示されている〈たまだより〉をご確認ください。

多摩区の赤羽根募金と年末たすけあいを合計した金額は

18,014,059円 です。

そのうち

赤い羽根募金の使いみちは

総額11,338,472円

県共同募金会の配分計画に基づき
「神奈川内の福祉」に役立てられています
県内社会福祉団体10,013,930円

うち多摩区内の

○在宅サービス団体 4カ所

○社会福祉施設 9カ所へ配分

多摩区社会福祉協議会1,324,542円

○ボランティアセンター運営事業

○福祉教育推進事業

○広報・啓発事業

○行事活動助成事業など令和七年度の事業に活用

歳末たすけあい募金の使いみち

総額6,675,587円

要援護者世帯へ慰問金2,196,000円

○障害児世帯 513世帯

○高齢者世帯 36世帯

多摩区社会福祉協議会4,479,587円

○地区社会福祉協議会への助成金

5地区（登戸・菅・中野島・稲田・生田）

○子育て支援事業など令和7年度の事業に活用

編集後記

- ハイムたより第129号をお届けします。
- 執筆・掲載記事をお寄せ頂き有難うございました。次回はもう少しスマートに作成出来たらと思っています。
- 一年間、どうぞよろしくお願い致します。